

保健体育科学習指導案

平成30年9月12日(水) 第4校時 校庭

授業学級 2年B組(39名)

授業者

指導教諭

1 単元名 「チームで動きを高めるベースボール」(2年)

2 主眼

外野で捕球した場合の守備行動を追求する場面で、中継とカバーの動きに着目し、前時に立てた作戦を共有したうえでメインゲームを行うことを通して、連携してランナーをアウトにすることができる。

3 本時の位置 (全8時間中 第8時)

前時：守備の役割に着目し作戦を立てた。

次時：チームの課題を踏まえ作戦を立てゲームを行い単元のまとめをする。

4 指導上の留意点

- ・天候が不安定なため、生徒の体調に気をつける。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応 (太字はキーワード)	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
はじめ	1 学習問題を を確認し、 学習課題を 設定する。	ア もっと遠くにボールを飛ばせるバッ ティングをしたい。 イ 前時は外野で捕球したときの守備 の役割に注目した作戦に沿ってゲー ムを行った。 ウ 実際に行ってみると作戦通りにで きなかつたり、新しい課題が見つ かった。	◇ドリル練習を撮影、フィードバック しながら技術指導を行う。 ◆前時を振り返り、学習問題を確認す る。 ◇今まで触れた守備の動きのポイント をおさらいする。 ◆それぞれのチームに改善点があるこ とを示し学習課題を設定する。	10 分	黒板 iPad
	2 チーム ごと作戦 を確認す る。	エ 前回のゲームで声かけをしながら 守備位置と担う可能性のある役割に ついて考えた。 オ ボールを捕球した位置によって役 割が変わるので カ 集まる塁やどの守備行動を行うか の判断がややこしいが、素早い判断 を求められるため監督を中心に声か けを行うことが大切だ。	◆前時立てた作戦から自身の守備位置 と役割行動を確認する。 ◇試合の準備を行うと共に試合場所 に移動し、その場でチームの課題を決 め作戦会議を行う。 ◇打球状況に合わせた素早い判断を行 いゲームを楽しむために、改善策を 見いだせないチームにアドバイスを 行う。	10 分	作戦シ ート
なか	3 ゲーム を行う。	キ 声を掛け合いながら連携して動 き、ランナーをアウトにすることが できた。 ク 前回外野で捕球しても全員で集ま ってしまうことがあったが、全員が 違う役割を行うことができた。	◆立てた作戦をゲームの中で行いなが ら、守備行動をチームで連携し課題 の解決を行う。 ◇役割行動がうまくできた場面を褒 め、うまく動けていないときは改善 点を考えるように促す。	20 分	
	4 本時の まとめを 行う。	本時の評価基準に達しなかった生徒への手だて ・声かけをチームの課題として取り上げ、作戦の共有を促す。 ケ 打球状況から集まる塁を判断し て、全員がそれぞれ守備行動を行う ことができた。 コ チームで連携してランナーをアウ トにすることができた。	◆ゲームの反省を班ごとに行い、作戦シ ートに記入する。 ◆ワークシートで単元を振る。 ◇チームで連携して行ったプレーを取 り上げ単元のまとめをする。	10 分	振り返 りシ ート

6 反省